おまえざきの人　きらり輝く人

# 「全日本大学駅伝対校選手権大会」に出場

# 菅沼（すがぬま） 隆佑（りゅうすけ）さん

**PROFILE**

すがぬま　りゅうすけ（佐倉一区）
浜岡東小学校～浜岡中学校～榛原高校～日本体育大学（４年生）
「東京箱根間往復大学駅伝競走（通称：箱根駅伝）」に出場し、
シード権が得られる10位以内に入ることを目標に特訓を重ねている。

## 全日本大学駅伝で好走

大学三大駅伝の一つである「秩父宮賜杯 全日本大学駅伝対校選手権大会」が11月1日に開催され、日本体育大学4年生の菅沼隆佑さんが出場した。菅沼さんはアップダウンが激しい4区の11・8キロを34分49秒で走り、区間10位という好記録で次の走者にタスキをつないだ。「自分を支え続けてくれた人たちのおかげで現在の自分がいます。その感謝の気持ちを走りにつなげました」と振り返る。同大学は、来年1月2日に開かれる箱根駅伝への出場も決定している。

## 感謝を糧に走り続けた4年間

中学、高校と陸上競技部で中距離走に専念してきた菅沼さんは、高校最後の県大会で現役引退を考えていた。しかし、菅沼さんの素質に目を付けていた同大学駅伝部監督から大会終了後にスカウトされ考えが一転。古参の強豪校でどこまで成長できるか挑戦してみたくなり、その場で入学を決意した。

菅沼さんは、期待に胸を膨らませて大学駅伝という新しい世界に飛び込んだ。しかし、すぐに長距離走を専門に特訓を重ねてきたチームメートとの実力の差を感じて落胆する。このとき「自分は速い人と比べて筋肉量が少ない」ということに気付き、自ら進んでウエイトトレーニングに励むようになった。また、筋肉量だけでなく柔軟性も欠けていたと振り返る。

「ヨガ講師の母からストレッチの大切さを教えられてきたんですけどね…。でも、その反省からこれまで自分を応援してくれた家族や友達などに成長した姿を見せることで、恩返しをしたいと考えるようになりました」と思いを語る菅沼さん。現在は部内で4番手につけている。周囲の応援と本人の努力が実を結んだ結果だ。

## 箱根まであと22日（発行日時点）

「箱根駅伝は大学駅伝の集大成。どの区間で走っても10位以内でタスキをつなぎたいです」と意気込む菅沼さん。

チームの思いを胸に、感謝の気持ちをエネルギーにして走る姿は、私たちの目に美しく映るだろう。